

第2回 丘珠空港 PI 推進協議会 議事録

日時 2026年3月27日（金） 15:30～16:00

場所 札幌第1合同庁舎2階講堂

出席者（敬称略）

北海道副知事	加納 孝之 氏
札幌市副市長	天野 周治 氏
東京航空局長	大辻 統 氏
北海道防衛局長	掛水 雅俊 氏
陸上自衛隊北部方面総監部幕僚副長	深水 秀任 氏
北海道開発局港湾空港部長	佐々木 純 氏

1. 開会

（司会）

それでは、定刻となりましたので、ただ今から「第2回丘珠空港 PI 推進協議会」を開催いたします。私は、本日の進行を務めます、北海道開発局港湾空港部空港・防災課の松本です。よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、本協議会の議長であります、北海道開発局港湾空港部長の佐々木より、ご挨拶を申し上げます。

（議長）

北海道開発局の佐々木でございます。本日はご多忙のところ「第2回丘珠空港 PI 推進協議会」にご出席を賜り、誠にありがとうございます。本日は、丘珠空港の機能強化に係るパブリック・インボルブメントについて、PI 最終とりまとめ案を作成しましたので、皆様にご確認いただき、PI の総括を行ってまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 出席者紹介

（司会）

続きまして、本日ご出席の皆様をお手元の名簿順でご紹介させていただきます。

北海道副知事の加納孝之様です。

札幌市副市長の天野周治様です。

東京航空局局長の大辻統様です。

北海道防衛局局長の掛水雅俊様です。

陸上自衛隊北部方面総監部幕僚副長の深水秀任様です。

北海道開発局港湾空港部部長の佐々木純です。

以上6名となります。

次に、配付資料の確認をさせていただきます。まず、議事次第、出席者名簿、配席図、資料として丘珠空港機能強化計画に関するPI最終とりまとめ(概要版)でございます。その他に参考資料として①から⑩という番号を振った資料をタブレットの中に格納させていただいておりますので、必要に応じてご覧いただければと思っております。不足等ございましたら、事務局までお申し出いただければと思います。

3. 議事

(司会)

それではこれから議事に入ります。佐々木部長の方からお願いいたします。

(議長)

はい、よろしくお願いいたします。まず、パブリック・インボルブメントの実施結果について、事務局から説明をお願いいたします。

(1) PI最終とりまとめ(案)報告

(事務局)

事務局の空港・防災課長の齋藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

お手元の資料の紙でお配りしている、丘珠空港機能強化に関するPI最終とりまとめの概要版でご説明させていただきたいのですが、その前に、この検討を始めてから半年近く経ちましたので、この計画策定のフローについて1回皆さんと一緒におさらいをさせていただければと思います。

タブレットの④の資料「丘珠空港機能強化に向けた計画検討プロセス」をご覧いただければと思います。

一応、今回のPIを始める前段に、こういった計画検討プロセスというものを空港整備主体の方で作らせていただきました。

そこで、こちら書いてありますけれども、左上のところです。ピンクのところに計画検討等とありますけれども、その下の計画検討の発議、計画検討の進め方ですとか、この事業の必要性・効果、その下にも書いてあります、複数案の設定ですとか、比較項目の設定、比較案、比較評価、こういったものを空港整備主体の方で検討してまいりました。

ただ、ここで決めたからこの計画で行くという形にはなりませんで、こういったものを広く地域の方々に周知して、また地域の方からご意見をいただいて、より良い計画にしていこうということで、右の方に黄色い住民参画と書いておりますけれども、今回の話にもございます、パブリック・インボルブメントを実施することになりました。

この実施にあたりましては、まさにこの協議会になります、PI 推進協議会を設置させていただきましたし、あとは一番右にあります第三者の方々に構成されるこの評価委員会を設置させていただきました。

この真ん中の協議会というところをご覧いただければと思うんですけども、この計画検討で、国の方で議論して取りまとめた機能強化計画書、こちらのお手元のパンフレットにもございますが、こちらと、PI レポートとありますけれども、これは PI の具体的なやり方、いつ・誰が・どこで・どのようにやるかといったところをまとめたものが PI レポートですけれども、こちらを協議会の方で議論いただき、その内容について、評価委員会から評価、ご助言いただいたところでございます。

そして、下の方に行きまして、青いところに四角が2つございますけれども、実際に PI の実施ということ、それから中間とりまとめを経て、今現在のステータスとして一番下の協議会最終とりまとめ、PI 活動の総括といったところにきているといったものでございます。

それでは、資料の方を説明させていただきたいと思います。タブレットの方では①の資料、また、お手元に紙で用意させていただいておりますので、どちらかご覧いただければと思います。よろしくお願いします。

それでは、概要版ということで説明させていただきます。まず1つ目の PI の実施状況ということでございます。具体的に、PI を実施するに当たって諸々の資料を作成させていただきました。チラシ付きのハガキですとか、ポスターですとか、先ほど申し上げた機能強化計画書というものを作成させていただきました。それから、周知広報も行っております。各種メディアにおいてこの PI 活動を紹介させていただきました。今回の協議会のメンバーの皆さんの SNS とかホームページとか、いろんな所で周知いただきました。特に北海道庁さん、それから札幌市さんにおかれましては、いろんな所でこの周知広報にご協力いただきまして、本当にありがとうございます。また、街頭ビジョンですとか、テレビ・新聞報道などでも、この PI 活動をしっかりと周知いただいたところでございます。

次のページでございます。「(3) 情報提供・意見聴収」と書いてございます。情報提供というのは周知と似ているところはあるんですけども、我々の定義といたしましては、この計画書とか色んな媒体を作って、もうそれを作って終わり、ということではなく、その中身についてもしっかりと説明していくということまでを情報提供という風にさせていただき、やらせていただきました。

具体的には、①②とあるんですけども、住民説明会（教室型）と書いてありますけれども、これはいわゆるこれまでの従来型の説明会といったものでございます。こちら、札幌市内の空港周辺 9 地区におきまして、札幌市さんが丘珠空港の将来像をつくられた時に同じような形で地域の方々にこういった 9 地区で説明されたということで、我々

もそれに倣って同じ場所でやらせていただきました。この地域住民の方を対象とした説明会を実施させていただきまして合計 195 名の方にご来場いただきました。こちらの写真で書いてあるのが、丘珠会場が一つの例ですけれども紹介させていただきます。

②の方ですね、住民説明会（オープンハウス型）ということでございます。こちらオープンハウスというのは、先ほどの従来からの教室型に比べまして、この説明会に来られる方々にも、決まった時間・場所というのを限定せずに、好きな時に好きな事だけ聞けるというピンポイントに情報を入手できるということで、教室型に比べてストレスが少ないだろうとこのオープンハウス型説明会を今回、我々の PI でも採用させていただきました。こちらにつきましては、丘珠空港ターミナルビルの 2 階で 2 カ月間実施しまして 1,143 名の方にご来場いただきました。また、札幌駅の地下歩道空間、チカホにおきましても 3 日間実施させていただきまして、合計 1,104 名の方にご来場いただきました。

それから③です。こういった住民説明会、情報提供を通じて、意見聴収させていたしております。こちら、特設サイトのページにあります、意見記入フォームですとか、ハガキ、それから住民説明会の時に使いました付箋によって、ご回答いただきました。これを集計したところ、一番下に書いてございますけれども、意見フォームでは 817 件、ハガキでは 358 通、付箋では 319 枚、ご意見をいただくということになりました。

次のページ、3 ページ目でございます。意見聴収の結果集計分析について報告させていただきます。こちらお手元にこういったチラシ付きのハガキがありますけれども、これをめくっていただくと、A4 版の大きなハガキをもって回答いただきました。ここを見ていただくと、質問 1 とか 2 とか 3 とか、このあたりは選択式の回答をいただいております。また、一番最後には、回答いただいた方の属性についても聞いておまして、こういった選択式のものは単純集計できますので、こういう数値、定量的な分析をさせていただいたところでございます。

資料に戻りまして 3 ページ目でございます。この選択式で回答いただいたものについての分析でございます。意見フォーム、それからハガキについて、定量的な分析ができました。1,175 件のご回答をいただきました。こちらによりますと、まず 1 つ目、回答者の属性でございますけれども、札幌市の方が 842 名ということで全体の 7 割を占めているということで、札幌市内を中心に幅広いエリアからご回答いただいたということが分かります。

また、次に年代構成ですけれども、40 代未満が 3 割、3 分の 1 を占めるぐらいで、残り 50 代、60 代、70 代といった幅広い年齢層からご回答いただいたということがわかります。

また、利用頻度についても聞いてございます。見ていただくと、「全く利用したことがない」か「年に 1 回、2 回程度」という方が 7 割程度を占めているといった状況がわかります。

それから次、4 ページ目でございます。機能強化の必要性についても選択式で聞いているところでございます。現在丘珠空港が抱える4つの課題「小型ジェット機の冬季運航制限の緩和」それから、「安全・防災支援機能の確保」「道内外を結ぶ航空ネットワークの充実」「道央圏空港の機能強化」という、この4つの課題について改善が必要だと思いますか、思いませんか、ということを選択式で聞いているところでございます。このグラフを見ていただいて分かる通り、約9割の方が「必要だと思う」、「やや必要だと思う」という形でご回答いただいております、これらの方々が、丘珠空港が現在抱える課題について改善が必要であるといった旨の回答をいただいたということを我々、確認させていただきました。

それから③のところに書いてございます、滑走路延長案を評価する際に重視する項目ということで、「整備効果」「空港周辺への影響」「事業期間」「事業費」ということで、この順番をつけていただきました。見ていただいて分かる通り、「整備効果」「空港周辺への影響」「事業期間」「事業費」といった順番に重視しているといったことが分かりました。

それから5 ページ目、機能強化計画書の記載内容の理解度ということでございます。記載内容の理解度について、「よく理解できた」「ある程度理解できた」「あまり理解できなかった」「まったく理解できなかった」という、この4択で確認させていただいたところ、約9割の方が「よく理解できた」あるいは「ある程度理解できた」というご回答をいただいたところでございます。

また、この定量分析について、もうちょっと詳しくクロス集計をさせていただきました。お手元のタブレットの②の資料をご覧くださいと思います。下のページ番号というと36 ページになります。クロス集計による分析ということで、この居住エリアと必要性について掛け合わせて分析させていただきました。具体的には、札幌市東区・北区という、空港の直近にお住まいの方とそうでない方で比較して、必要性について、先ほど4つの課題についてどういう風な認識をされているかということ进行分析したものでございます。上の方が東区・北区の空港直近、近郊に住んでいらっしゃる方、下の方がそれ以外の方ということでございます。上の四角の方に書いてございますけれども、空港周辺にお住まいの方、東区・北区にお住まいの方は、他の地域に比べて、「あまり必要だと思わない」「必要だと思わない」を選択する割合が若干増加しましたが、それでもこの空港近郊にお住まいの方々の8割を超える方々が、4つの課題解決、「必要だと思う」「やや必要だと思う」という選択、回答されたということでございます。

また、次のページが、先ほど東区・北区にお住まいの方、重視する順番というのを掛け合わせまして分析させていただきました。こちら次のページですけれども見ていただいて分かる通り、空港周辺のお住まいの方々、他の地域と比べて、空港周辺の影響を一番に重視する傾向があるということがわかりました。

また次のページでございます。利用頻度とこの必要性について掛け合わせた分析もしてございます。全く利用したことがない方とそれ以外、何かしら使ったことがある方の分けをして、必要性について確認させていただきました。そうしたところ、全く利用しない方につきましては、この「どちらともいえない」「必要だと思わない」と回答した割合が、それ以外の方に比べて若干やや高くなっているということが分かりました。一方で、全体として8割を超える方が「必要だと思う」「やや必要だと思う」という回答をいただきまして、多くの方がこの機能強化計画に前向きに捉えていただいているということが読み取れることが分かりました。

続きまして、その次のページです、この利用頻度と重視する順番ということで分析してございます。その結果がこちらに書いてある通りでございますけれども、丘珠空港を利用しているかどうかに関わらず、多くの方が「整備効果」や「空港周辺への影響」を重視しているということが分かりました。また、利用頻度別に見ると、丘珠空港を全く利用しない方では、「空港周辺への影響」を重視する傾向があるということが分かりました。一方で丘珠空港を利用される方では、「事業期間」を重視する傾向が見られました。早く整備してくれということだと思えます。こういった傾向がございました。

続きまして、前回の中間とりまとめ以降のお話しとして、この自由記述についての分析というのが出来なかったものですから、こちらについて今回の最終とりまとめで重点的に対応したところでございまして、そちらについてご説明させていただきたいと思えます。

先ほどの資料の次のページをご覧くださいければと思います。「(5) 自由意見」ということで書いてございます。まず、この自由意見の分類整理でございますけれども、先ほどの資料の説明でさせていただきました、意見記入フォーム 817 件、ハガキ 358 件、付箋 319 件と、そういったところで自由記述の意見をいただきましたので、ここで寄せられた 1,494 件、合計ですけれども、これを分析対象のスタート地点とさせていただきます。

まず手順1でございますけれども、ハガキの方に質問1・2・4・5というところに自由意見の空欄がそれぞれあったということでございますので、そこをまずバラバラに分解するところから作業を始めました。

例えば、例ということで書いてありますけれども、こういったご意見があった場合には下の方に書いてありますけれども、4つの内容がありますのでこの4つに分解したということでございます。こういった作業をすると、結果として2,000件以上のご意見にカウントさせていただくことになりました。

また付箋については、付箋1枚につき1つの意見をいただくということでございますので、付箋につきましては319件の意見を使わせていただきました。

その次の手順でございますけれども、この前手順で分解した意見を要約させていた
だきまして、その下に表 2-1 の分類表にしたがって 33 のカテゴリに分類をさせていた
だきました。

そして最後でございますけれども、この 33 カテゴリに分類した後、意見について協
議会の考えを回答するという作業を行わせていただきました。中身はそれ以降のペー
ジで書いてありますけれども、文言のみ微修正等々がまだありますので、調整中という
ことを書かせていただいております。

こちらの中身について、概略的なところを概要版で紹介させていただこうと思いま
す。

概要版の資料に戻っていただきまして、5 ページ目の下のところ、自由記述回答とい
うことでございます。先ほども触れました通り、その意見フォーム、ハガキの自由記述
欄、それから住民説明会（教室型）で収集した付箋に寄せられた意見を集約し、協議会
の考え方を回答させていただきました。

例えば、滑走路延長が不要であるとか、人口減少や北海道新幹線の延伸を考えると、
丘珠空港の機能強化は不要であるとか、あと丘珠空港と新千歳空港の 2 つの空港をど
うやって使い分けていくのかですね。また、1,800m じゃなくて 2,000m じゃないのかと
か、大型機就航しないのかとか、こういったご意見をいただいたり、次のページ、やは
り航空機騒音を減らしてほしいとか、最後、案 1 が良い・案 2 が良いといったストレ
ートなご意見もありました。

こういったものに対して、協議会の考え方というのを右の方に書かせていただい
ております。一つ一つ読み上げませんけれども、こういったトーンで 33 くらいに分類し
た意見についてそれぞれ回答させていただくという形をとらせていただくというこ
とでございます。

最後です、6 ページ目の 3 ポツでございます。PI の目標達成判断と言ったところで
ございます。冒頭に説明申し上げた PI レポートの一番最後のページに、この PI をやった
最後に目標達成と目標達成判断といったものがございまして、この指標を 4 つほど設
けております。

4 つの視点という風に下に書いてございますけれども、「PI は適切に実施されたか」
「提供した情報は適切に周知されたか」「PI 対象者は PI 推進協議会が提供した情報を
理解したか」「募集した意見に対して PI 推進協議会の考え方は示されているか」とい
ったところを評価指標として設定しております。

昨日、PI 評価委員会に我々の方から説明させていただきまして、この 4 つの評価指
標、いずれにおいてもしっかりと対応しているという風にまさに昨日評価委員会から
評価いただいたところでございます。

そうしまして、我々推進協議会の事務局といたしましては、この上記 4 つの視点で PI
の目標達成を判断したという風に評価させていただきまして、この 4 ついずれの視点

においても目標達成されていると判断したということで報告させていただきたいと思っています。

私の方から諸々の資料を含めて説明させていただきました。どうぞよろしくお願いいたしますします。

(議長)

はい、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問ございましたらお願いいたします。

天野副市長よろしくお願いいたします。

(札幌市 天野副市長)

札幌市の天野でございます。ただいま最終とりまとめのご報告をいただきましたが、この取り組みに関わった方々に、まずは心より感謝申し上げます。市民や道民の皆様、そして道外の方から貴重な意見を多くいただくことができたことについて大変ありがたく思っております。

先ほどいただいたご説明では、今回の意見聴取におきまして、4つの項目の機能強化の必要性について「必要」「やや必要」との回答が全体の約9割ということでお話がございました。改めて丘珠空港の機能強化に対する皆様からの期待は大変大きいものという風に受け止めたところでございます。

また一方で、昨年実施された住民説明会などを通じて、空港周辺にお住まいの皆様から航空機騒音の増加や生活環境への影響を懸念する声も寄せられたという風に認識しております。そういった中で一点お伺いさせていただきます。

今回のPI活動におきましては、先ほどのご説明あった通り、意見聴取の件数として1,175件ほど意見をいただいております、その内、空港周辺にございます北区・東区にお住まいの方々からの意見は325件ということになっております。こういった状況を踏まえまして、空港周辺の住民の皆様に対する情報提供やご意見について、どのような認識をお持ちなのか、見解をお聞かせいただければと思います。よろしくお願いいたしますします。

(事務局)

はい、ありがとうございます。今回、意見フォームですとか、ハガキでいただいた意見を集約したところ、北区・東区・中央区からを中心に多くの意見をいただいております。この内、北区・東区の居住者の方325件ということでございましたが、この他、住民説明会において9か所で195名の方に参加いただきまして、合計319枚の付箋による回答もいただいたということでございます。PIの目標であります住民の方への情報提供、ご意見をいただくという観点では、しっかりとした説明ができたのかなと、目標を達成できたのかなという風に考えているところでございます。

(札幌市 天野副市長)

ご回答ありがとうございます。札幌市といたしましては、この度の最終とりまとめによりまして空港周辺の地元の皆様からも、機能強化を前向きに捉える声が多く、期待が高いことが改めて確認できました。

また一方で、空港周辺への影響を重視する声が多いことも改めて認識したところでございます。それに対する懸念については、引き続き真摯に対応していく必要があるという風に受け止めております。

現在国におかれましては、環境アセスメントの手続きが進められており、今後航空機騒音を含めた詳細な調査や評価が進められると伺っております。引き続き協力して参りたいと思っております。

札幌市といたしましては、航空機騒音が環境基準の範囲内に収まる運用となるように、国や関係機関と連携させていただきながら、周辺住民の皆様へ丁寧な情報提供などに努めてまいりたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

私からは以上でございます。

(議長)

どうもありがとうございました。他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、本日ご提示した PI の最終とりまとめにつきまして、大体の方向性としてはこれでよろしいでしょうか。

資料の細かいところにつきましては、若干の修正があると思いますので、そうした微修正につきましては、幹事会で進めさせていただいた上で、公表することとさせていただきたいと思います。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

<異議なし>

(議長)

はい、ありがとうございます。

では、資料といたしましては、皆さんに提案させていただいたものについて幹事会で整理した上で、正案とさせていただきます。

それでは最後になりますが、本日は PI の総括ということでございますので、皆様からお言葉がありましたらよろしくお願いいたします。

それでは、加納副知事よろしくお願いいたします。

(北海道 加納副知事)

今ほどご報告いただきました自由意見の取りまとめなど、大変ご苦勞いただきました、ありがとうございます。丘珠空港でございますけれども、北海道航空ネットワークビジョンにおきましても、道内航空ネットワークの拠点ということで、そういったご質問にも 9 割以上の期待があるとお聞きしました。そういう機能強化を図ることは本当に重要だと認識してございます。

今回の PI 活動といたしましても、本庁や振興局、様々な連携機関などと一緒に計画書等を配布するなど、皆さんに広く周知させていただきました。また、住民説明会にも出席させていただくことなどご協力させていただいたところでございます。

PI 活動で得られましたご意見、今ほどお話がございましたが、肯定的なご意見が 9 割を超えているということ踏まえていただくとともに、天野副市長からもございましたけれども、それ以外のご意見にも丁寧にお応えいただきながら丘珠空港の滑走路延長事業が着実に進展されることを期待しております。

よろしくお願いいたします。

(議長)

どうもありがとうございます。

天野副市長いかがでしょうか。

(札幌市 天野副市長)

今般の PI 活動では大変きめ細かい取組を重ねていただいたことに改めて感謝申し上げます。おかげで貴重な意見も聴取することができたという風に認識をしております。

またその中で、空港機能の強化については 9 割を超える方が必要と回答されていることから、丘珠空港の将来像の中心となる滑走路延長の事業化に向け、多くの理解をいただき、一歩前進したという風に認識をしております。

また同時に、今回の意見聴取を受けまして、航空機騒音に不安を感じる方もいらっしゃいますので、引き続き丁寧な情報提供などに努めてまいりたいと考えております。これにつきましては、関係者の皆様にもご協力いただきますよう、この場をお借りして改めてお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

(議長)

ありがとうございました。

大辻東京航空局長よろしくお願いいたします。

(東京航空局)

東京航空局長の大辻でございます。今回のパブリック・インボルブメントにつきまして、まずはこの実施に当たって、道の皆様、市の皆様におかれましては、色々ご支援ご協力を賜りまして、空港整備主体の一構成員として感謝を申し上げたいと思います。

今回のパブリック・インボルブメントにつきまして、丘珠空港の現在抱えている課題でありますとか、期待されている役割、それから我々が検討している今後の機能強化のあり方、こういったものをまさに幅広く地域住民の方々、空港利用者の方々など関係者の方々に對して広く情報提供を行うことができたということと、また、その結果として様々なご意見を頂戴したということでもあります。そういった意味で、先ほど事務局から話がありました通り、パブリック・インボルブメントの今回の目標については、一定の目的が達成されたということで、私どもも認識しております。今後、こういった様々なご意見をいただきましたけれども、私どもといたしましては、北海道開発局と共に、丘珠空港の機能強化を通じて、関係者のご期待に応え、そして地域の発展に私ども国としても貢献していきたいと、このように考えているところでございます。

一方で、先ほど天野副市長からもお話がありました、ご意見の中には航空機騒音でございますとか、生活環境の悪化、こういったものにご懸念を示される方もおられるということでございます。まさにそれは当然のことだと思っております。そういったご意見があったということを私どもしっかりと念頭に置きまして、これからも引き続き丁寧に、適切に対応していきたいと思っております。引き続き、関係者の皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(議長)

はい、どうもありがとうございました。

滑走路延長を核とした丘珠空港の機能強化につきましては、これまで皆様とともに検討を進めてまいりました。今後は空港整備主体であります、北海道開発局、東京航空局が早期の事業化を目指して検討を引き続き進めてまいりますので、引き続き皆様のご協力、何卒よろしくお願いいたします。

それでは、進行を事務局にお返しいたします。

4. 閉会

(事務局)

以上をもちまして、「第2回丘珠空港PI推進協議会」を終了させていただきます。本日は長時間にわたり誠にありがとうございました。